

必ずお読みください

# 取扱説明書

## 感震器マグマスタット 形式-CJS形



### はじめに

このたびは、J S形感震器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用前に、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 安全上のご注意



#### 警告

- 通電中はカバーを絶対外さないでください。感電の恐れがあります。
- 必ず電源を切ってから配線してください。感電の恐れがあります。
- 製品に水をかけないでください。
- コード入口ゴムを外さないで配線してください。又は、コンジットをご使用ください。コードが傷付いて感電の恐れがあります。
- アースを確実に取り付けてください。

### 特長

- ・地震検出に鋼球方式を採用しているため、劣化、経年が起こりにくい構造になっています。
- ・機械振動、交通振動などの周波数の高い領域に対しては働きにくく、地震特有の周波数(1.5~3Hz)に対しては敏感に作動します。
- ・リセットは完全手動復帰方式を採用しております。
- ・リセットは電気系統のセットではなく、地震素子である鋼球そのものをセットすることにより行われます。電源の断続、大きな振動では自動復帰いたしません。
- ・感震時には赤ランプが点灯し、作動したことが表示されます。
- ・遠隔警報端子付で遠隔警報が可能です。

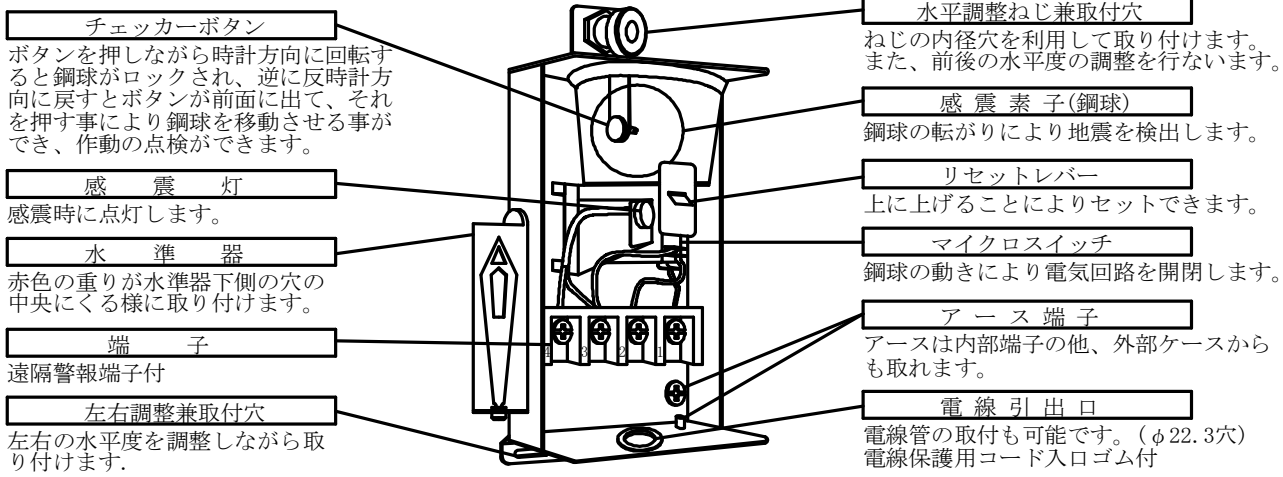
### 仕様

品名	感震器(商品名……マグマスタット)
形式	CJS-C117T
設定加速度	水平動、周期0.3~0.7秒、101cm/sec <sup>2</sup> ~ 170cm/sec <sup>2</sup> で作動
定格電圧	AC100V, 200V 共通
接点容量	AC125V 0.05~10A, AC250V 0.05~7A(誘導負荷力率=0.6)
接点形式	単極双投
作動表示	感震作動時表示ランプ点灯
復帰方式	手動復帰
端子	4端子(遠隔警報端子付)
使用温度範囲	-20 ~ 70 °C 但し、結露等無きこと
外観形状	縦 145 × 横 78.5 × 巾 63.6 mm
重量	約 0.41 kg
その他	東京消防庁認定合格品

### 取付条件

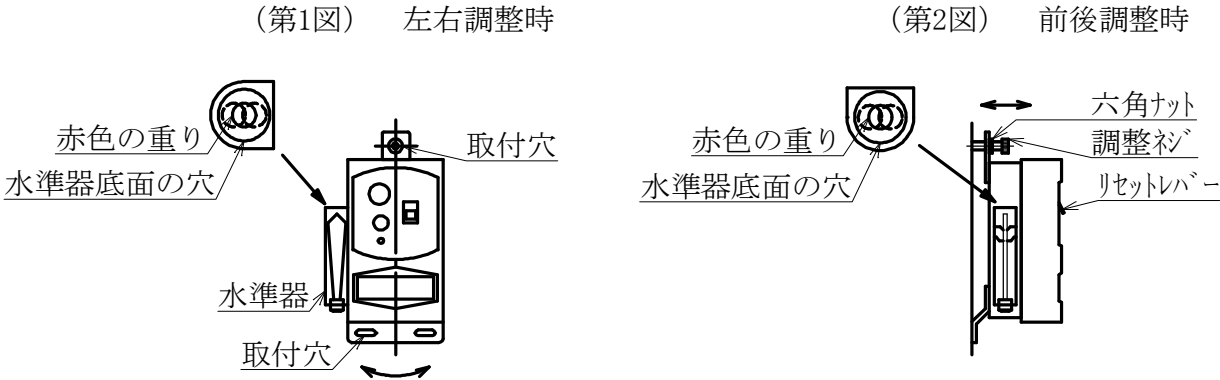
- 取付には下記項目にご注意ください。誤作動及び性能低下の恐れがあります。
- ・容易に共振を伴わない、建造物の主要構造部(壁、柱など)にしっかり取り付けてください。
  - ・取付状態において、感震素子(鋼球)が静止状態であり、外部振動による揺動、回転がないことを確認してください。
  - ・下記場所には取り付けないでください。
    - ・点検、操作、保守、管理が容易にできない場所。
    - ・通行などの接触、振動による障害及び誤作動の恐れのある場所。
    - ・ドアの開閉による振動や機械振動、交通振動の多い場所。
    - ・浴室、その他湿気の高い場所、水のかかる恐れのある場所及び結露、凍結の恐れのある場所。
    - ・腐食性ガス、可燃性ガス又は粉塵が浮遊する場所。
  - ・感震器に落下などの大きな衝撃を加えないでください。
  - ・端子及びアース端子、水平調整ネジ、カバー取り付けネジ以外のネジには触れないでください。
  - ・接点容量、使用温度範囲など、上表(仕様)の範囲内で使用してください。
  - ・塗装や改造をしないでください。

### 内部構造及び主要部品の名称



### 取付方法

- ① 本体取付方法
  - ・取付は必ず3本のネジにて行ってください。ネジの取付面の材質により、木ネジでもビスでも構いません。取付穴は、上側に1ヶ所、下側に2ヶ所用意されておりますので次の水平の調整を行いながら壁面にネジのゆるみのないよう確実に取付けてください。
- ② 水平の調整方法
  - ・本器がその機能を発揮するためには、地面に対して水平(鉛直)に取り付ける必要があります。水平(鉛直)に取り付けられたか否かの判断は、本体左側に設けられた水準器により行ないます。



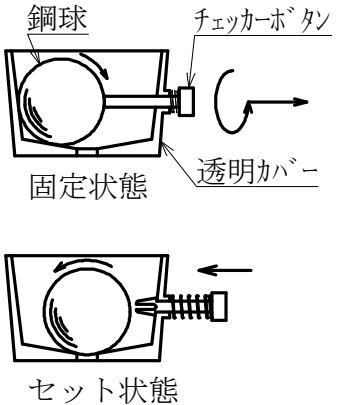
- a) 左右の調整  
本体下側の楕円の取付穴を利用し、水準器の重りが穴の中央にくるように本体を左右に動かし調整、固定してください。(第1図)
- b) 前後の調整
  - b-1) 本体上側の調整ネジの取付高さを変え左右の調整同様、水準器の重りが穴の中央にくるよう調整します。(第2図)
  - b-2) 高さが決まりましたら、調整ネジ部にある六角ナットを締付け、取付高さを固定します。
  - b-3) 最後に、調整ネジの穴を使用し、ネジにて本体を固定して取付の完了です。

### チェッカーボタンの取扱い方法

前面の赤色カバーを取り外しますと、透明カバーの中に地震検出用の鋼球が見えます。この鋼球は輸送中の衝撃を緩和するために、チェッカーボタンで固定してあります。このボタンを反時計方向に回転させていくとチェッカーボタンが前面に飛び出し、鋼球は自由に動くようになります。次に、リセットレバーを上方にゆっくり上げると鋼球は中央に静止し、セット状態になります。

このセットされた状態でチェッカーボタンを押すと鋼球は移動し、手動にて地震を感知した状態を作り出すことができます。取付時の点検、定期点検に活用してください。

注) 運搬のときは必ずチェッカーボタンで鋼球を固定してください。チェッカーボタンを押しながら時計方向に回転させることにより、鋼球の固定ができます。



## 免責事項に関わるご承諾について

平素は当社製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

さて、当社製品をご使用いただく際は、見積書、契約書、カタログ、仕様書などに免責に関わる文言の記載がない場合、本書面により、次の通りとさせていただきます。

### 作動確認

本製品をご使用になるお客様(以下、「お客様」といいます。)は、ご使用の際、本製品を正しく取付け後、必ず試運転を実施し全システムが完全に機能することを確認してください。

本製品の不適切な取り付けにより、結果としてお客様の機械・装置において、人身事故、火災事故、多大な損害の発生などを生じさせないように、フェールセーフ設計<sup>1)</sup>、延焼対策設計による安全設計を行い必要な安全の作り込みを行っていただきと共に、フォールトトレランス<sup>2)</sup>などにより要求される信頼性にも必ず適合できる状態に正しくご調整くださいますようお願いいたします。

- 注<sup>1)</sup> フェールセーフ設計：機械が故障しても安全ように設計する。  
注<sup>2)</sup> フォールトトレランス：冗長性技術を利用する。

本製品の定期的な検査

最低 年1回は作動の確認を必ず実施し、その記録を残してください。

お客様がこれらを怠ったことにより、お客様に損害が発生した場合、当社はあらゆる損害賠償責任から免責されるものいたします。ただし、お客様に生じた損害が本製品の製造過程における瑕疵による場合はこの限りではありません。

### 使用上の制限

本製品は生命にかかわるような状況下で使用される機器又はシステムに用いることを目的として設計・製造されたものではなく、冷暖房及び冷凍空調装置用又は各種産業装置用に用いることを目的(以下、「本目的」といいます。)として設計・製造されたものです。

従いまして、下記 1)～3)に関する分野における本製品の使用は一切予定しておりません。これらの分野について本製品を使用され、それにより損害が発生した場合でも、当社はあらゆる損害賠償責任から免責されるものいたします。

- 1) 原子力・放射線関連
- 2) 宇宙・海底機器関連
- 3) 装置・機器の故障及び動作不良が、直接又は間接を問わず、生命、身体、財産などへ重大な損害を及ぼすことが通常予想されるような極めて高い信頼性を要求される機器

なお、上記 1)、2)に関する分野であっても、本目的に沿う用途で使用される場合に限り、及び、下記 4)～10)に関する分野に使用される場合は、当社営業担当窓口へ必ずご連絡のうえ書面による同意を得ていただきますようお願いいたします。万が一、当社営業窓口へのご連絡及び同意なくこれらの分野に本製品が使用され、それにより損害が発生した場合は、当社はあらゆる損害賠償責任から免責されるものいたします。

- 4) 可燃性及び/又は毒性冷媒を使用する冷暖房及び冷凍空調装置、又は可燃性及び/又は毒性流体を使用する各種産業装置
- 5) 輸送機器(鉄道、航空、船舶・車両設備など)
- 6) 防災・防犯機器
- 7) 医療機器、燃焼機器、電熱機器、娯楽設備、課金に直接関わる設備/用途
- 8) 電気、ガス、水道などの供給システム、大規模通信システム、交通・航空管制システムで高い信頼性が必要な設備
- 9) 官公庁 若しくは各業界の規制に従う設備
- 10) その他、上記 4)～9)に準ずる高度な信頼性、安全性が必要な機械・装置

使用条件・使用環境にも影響されますが、仕様書や取扱説明書に使用期間に記載がない場合は5年～10年を目安に製品のお取替えをお願いいたします。

### 保証範囲

本製品を使用したお客様の製品に故障が生じ、その原因が本製品の瑕疵による場合、お客様への **納入後1年以内** に限り、納入した本製品の代替品の提供または修理品の提供を無償で行わせていただきます。ただし、お客様の製品の故障により生じた損害のうち、当社が負担する割合は、納入した本製品の価格を上限とさせていただきます。また、お客様の製品の故障が下記事由に基づく場合は、当社はあらゆる損害賠償責任から免責されるものいたします。

- 1) お客様による本製品の不適当な取扱いならびにご使用の場合。  
(カタログ、仕様書、取扱説明書などに記載されている条件、環境、注意事項などの不遵守)
- 2) 故障の原因が、本製品以外の事由の場合。
- 3) 当社もしくは当社が委託した者以外の改造または修理による場合。
- 4) 「使用上の制限」に反し本製品が使用された場合。
- 5) 当社出荷当時の科学・技術水準では予見不可能であった場合。
- 6) その他、天災、災害、第三者による行為などで当社側の責にあらざる場合。

なお、インターネットオークションなどで本製品を購入された場合、上記の保証は一切受けられませんのでご注意ください。

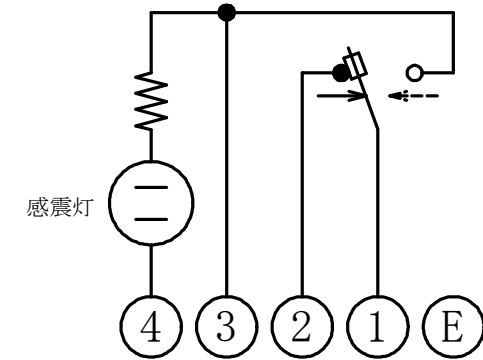
**株式会社 鷺宮製作所**

本社 / 〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-8-2  
新宿ガーデンタワー 22階  
URL <http://www.saginomiya.co.jp>

営業本部 / 東京 03-6205-9140 大阪支店 / 大阪 06-6385-8011

本製品に関するお問い合わせは、お買い求めいただきました販売店もしくは[saginomiya-info@saginomiya.co.jp](mailto:saginomiya-info@saginomiya.co.jp)へお問い合わせください。

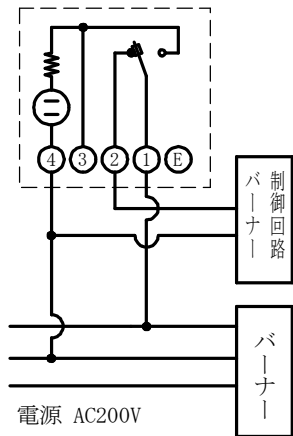
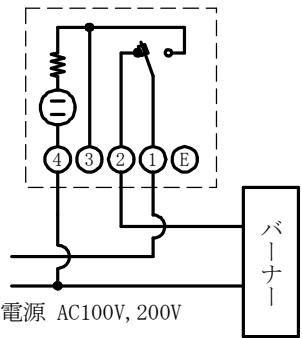
### 配線方法



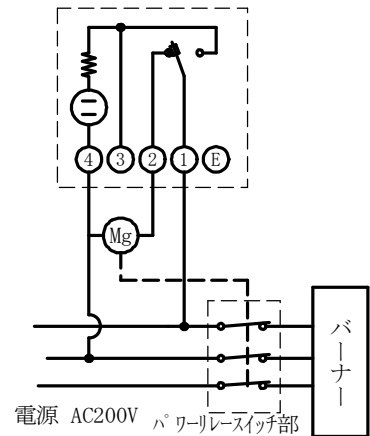
- ① 端子 : 共通端子  
② 端子 : 正常時閉用端子  
③ 端子 : 遠隔警報用端子  
④ 端子 : 感震灯用端子  
E 端子 : アース用端子  
→ : 感震方向及びチェッカーボタンによる作動方向  
←← : 手動復帰方向

### 用途 配線例

- a. 単相電源回路を遮断する場合    b. 操作回路への電源を遮断する場合    c. 三相の電源回路を遮断する場合



操作回路への電源を遮断することにより燃焼を停止させる方式



注) 感震器のほかに三相のパワーリレーが必要です。

- ・70℃以上に加熱される恐れのない場所に配線してください。
- ・配線工事は「電気設備の技術基準」に則ってください。
- ・通電中はカバーを外さないでください。
- ・必ず電源を切ってから配線をしてください。

### 作動点検方法

取り付け、配線が完了したら下記の順序にてチェックしてください。

- セット方法  
チェッカーボタンを反時計方向に回し、鋼球が自由に動くようにしてからリセットレバーを上方にゆっくり持ち上げてください。鋼球が中心に移動し、3～5秒で停止致します。鋼球が停止するまでの時間(3～5秒)リセットレバーを上にしたままで保持してください。セット完了時は、レバーをゆっくり戻して鋼球が中心に停止していることを確認してください。  
注意) リセットレバーを上になると、感震灯はすぐに消えますが、レバーを離しても感震灯が点灯している場合はセットがまだ完了していません。再度レバーを上げ、セットし直した後レバーを離して感震灯が点灯していないことを確認してください。

- 点検方法  
チェッカーボタンを押すことにより、鋼球が転がりスイッチが作動し、手動にて地震を感知した状態を作り出す事ができ、負荷回路を遮断すると共に感震灯が点灯します。再度レバーを上げセットし、電気系統が正常に作動しているか否か確認してください。

### 保守、点検

- ・本器は特別な保守は必要ありませんが、燃焼設備器具などの定期点検と共に、年1回の作動チェックを実施して下さい。作動点検は、作動点検方法に則ってください。
- ・本体内部特に作動機構部に虫や異物などが付着していない事を確認してください。
- ・地震などにより本器が働いた場合は、燃焼設備器具の点検を行ない、安全を確認した上でリセットレバーでセットしてください。